



No.13 Apr 2002

日本食物繊維研究会第7回学術集会の御案内	1
日本食物繊維研究会第7回学術集会開催および演題募集のお知らせ	2
日本食物繊維研究会平成13年度総会記事	4
編集委員会より	8

日本食物繊維研究会 第7回学術集会の御案内

第7回学術集会長
大妻女子大学教授
池上 幸江

新年早々にLeon Prosky先生をお招きして行いました公開シンポジウムは大変盛況で、改めてわが国における食物繊維研究の発展に果たす研究会の役割を認識いたしました。

食物繊維の研究は、生理作用やその発現の機構、摂取量と健康状態との関連をみる疫学、あるいは定義や定量法など基礎的な研究分野にも多くの課題があります。また、実用的な面では新しい素材や新たな機能をもった素材の開発の可能性もあります。しかし、他方においては研究や開発が段々と難しい局面に立たされていることも否定できません。これまでの研究や開発の考え方や手法について、思い切った発想の転換も必要かもしれません。その点で最近の本研究会が定義、定量法、エネルギー評価などの問題で積極的に活動していることは、新しい方向を切り開いていくものとして期待されます。

さて、研究会が積極的な活動を展開しているこの時期に、第7回学術集会をお引き受けすることになりました。ぜひ、この時期に相応しいシンポジウムを行いたいと思いを絞っているところです。1つは、食物繊維のもつ物理化学的性質を改めて考えてみたいと思い、高分子の専門家によるシンポジウムを考えています。もう一つのシンポジウムは消化管機能と難消化成分の関連をテーマにしたものです。このテーマは、食物繊維の生理作用を考える場合の基本的な問題であり、この分野で活躍中の方々の考え方を知る機会にしたいと思っています。会員の皆様に新しい情報や考え方を提供できるようにしたいと思いますので、事務局までご意見やご要望を寄せていただきたいと思います。また、研究発表にも積極的にご応募下さいますようお願いいたします。

なお、毎年開催しております公開講演会につきましても、今年秋に開催できるように企画を進めておりますので、近い内に御案内できると思います。

第7回学術集会開催および演題募集のお知らせ

1. 第7回学術集会開催のご案内

本年の日本食物繊維研究会第7回学術集会を大妻女子大学・池上幸江教授を学術集会会長とし、関係諸先生のお世話により下記の通りに開催します。会員多数のご参加と食物繊維をはじめとする難消化性糖類周辺の幅広い分野からの演題申込を期待します。

なお、詳細につきましては研究会誌第6巻1号にてお知らせいたします。

1) 日 時：平成14年11月1日（金），2日（土）

2) 場 所：独立行政法人 国立健康・栄養研究所

〒162-8636 東京都新宿区戸山1-23-1

3) 講演および討論

発表はスライドプロジェクター，Power Point(Windows,Macintosh)，OHPを用意致します。

4) 学術集会受付

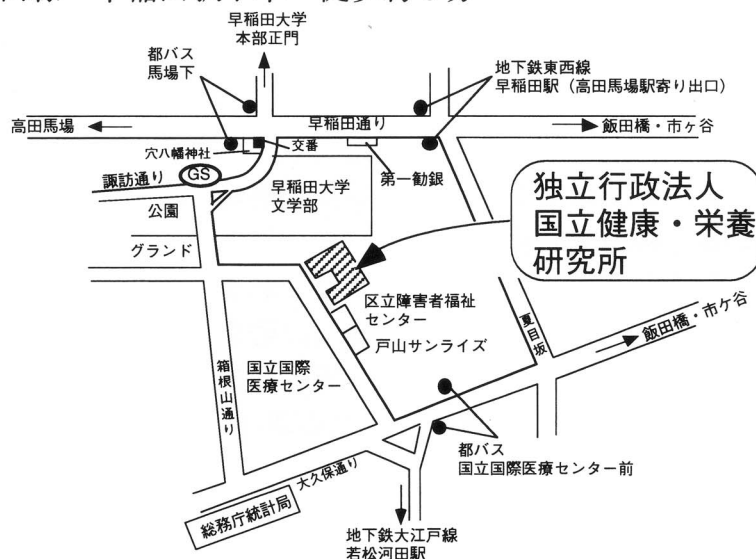
受付は開始30分前より行います。参加費・会場費（講演要旨集込み）として、正会員 3,000円，学生会員 1,500円，非会員 4,000円を申し受けます。

5) 呼び出し，クローク，昼食，宿泊等の手配など

- 会場での呼び出しは行いません。また、クロークも設置しませんので、荷物等は各自で保管して下さい。
- 昼食弁当等は用意致しませんので近くのレストランをご利用下さい。
- 研究会事務局は宿泊等の手配を行いませんので、各自で行って下さい。
- 駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮下さい。

6) 学術集会会場への交通案内

営団地下鉄東西線・早稲田駅下車 徒歩約8分



2.一般演題申込要領

1) 申込期限

平成14年9月13日(金)必着のこと

2) 申込先およびお問い合わせ先

日本食物繊維研究会第7回学術集会事務局

〒102-8357 東京都千代田区三番町12

大妻女子大学家政学部食物学科

池上 幸江 宛

TEL&FAX: 03-5275-6046

E-mail: sikegami@otsuma.ac.jp

3) 講演要旨作成要領

- ①講演要旨原稿はオフセット印刷するのでワープロ(黒印字)でB5サイズ2頁(B4サイズで見開き1頁になる)に仕上げてください。
- ②図表を入れる場合は指定の枠内に納まるようにしてください。
- ③用紙は通常のプリント用紙を用いてください。
- ④発表者が複数の場合、講演者の左頭に○印を付けてください。
- ⑤所属は略称を用い、氏名の後に()で囲んでください。
- ⑥講演要旨原稿のオリジナルとコピー1部およびフロッピー(ソフト名記入)をお送りください。
- ⑦複数の講演要旨を同封する場合はその由を封書に朱書してください。
- ⑧折り曲げないようにして、「簡易書留」でご送付ください。
- ⑨講演要旨原稿受領通知用のはがき1枚(宛名を記入したもの)を同封して下さい。

4) その他

- ①発表者のうち1名以上は本研究会会員であることが必要です。
 - ②演題の採否、講演日時等はプログラム委員会にお任せください。
プログラムは学術集会前に届くよう発送の予定です。
-

日本食物繊維研究会平成13年度総会記事

平成13年度事業報告

1. 庶務関係報告

1) 会員の状況

平成13年10月15日現在の会員数は次のとおりである。

正会員：205，学生会員：8，名誉会員：9，団体会員：4，賛助会員：40

2) 役員

会長：池田義雄

副会長：池上幸江

常任幹事：青江誠一郎，奥恒行，金谷健一郎，倉沢新一，真田宏夫，
高橋成子，田所忠弘，森豊，山下亀次郎，山田和彦

幹事：海老原清，片山洋子，斎藤洋子，坂田隆，菅野道廣，竹久文之，
土井邦紘，中村尚夫，橋本正子，原田悦守，大隈一裕，和田正裕，
若林茂

監事：森文平，永山スミ子

3) 常任幹事会

第26回：6月15日（於：国立健康・栄養研究所）

第27回：9月6日（於：国立健康・栄養研究所）

第28回：10月15日（於：国立健康・栄養研究所）

第29回：12月14日（於：国立健康・栄養研究所）

4) 評議員会

第6回：10月26日（於：愛媛大学農学部）

5) 総会

第6回：10月26日（於：愛媛大学農学部）

2. 学術関係報告

1) 第6回公開講演会

日時：平成13年10月27日（土）

場所：愛媛大学農学部（愛媛県松山市）

演題，演者：「生活習慣病予防と食物繊維」

1. 「食物繊維の話」

（愛媛大学農学部教授・海老原清先生）

2. 「肥満・糖尿病予防と食物繊維」

（タニタ体重科学研究所所長・池田義雄先生）

3. 「腸内フローラの保健機能と食物繊維」

（腸内細菌情報オフィス・森下芳行先生）

協賛：大塚製薬株式会社

2) 第6回学術集会

日 時：平成13年10月26日（金），27日（土）

場 所：愛媛大学農学部（愛媛県松山市）

申込演題数：8題

シンポジウムⅠ 「消化管機能と食物繊維」

1. 食物繊維とミネラル吸収 —上部消化管での作用—

岸田 太郎（愛媛大）

2. 盲腸切除ラットの消化管機能と栄養素利用・代謝

坂口 英（岡山大）

3. 実験的潰瘍性大腸炎モデルにおけるレジスタントスターチ摂取の治療効果について

森田 達也（静岡大）

シンポジウムⅡ 「食物繊維—最近の話題—」

1. キチンおよびキトサンオリゴ糖の生理作用

岡野 淳（日本水産）

2. キシリトールの生理作用—最近の研究から—

崎山 淳子（ダニスコカルター）

3. アラビノキシランの免疫調節作用

竹内 正保，小川 浩一，中村 信之（日本食品化工）

4. ラフィノースとアトピー性皮膚炎改善効果について

有塚 勉（日本甜菜製糖）

3) ニュースレターの発行

第11号：平成13年 4月27日発行 発行部数300部

第12号：平成13年10月 1日発行 発行部数300部

4) 研究会誌の発行

第5巻1号：平成13年 6月30日発行 発行部数500部

第5巻2号：平成13年12月30日発行 発行部数500部



公開シンポジウム「日米における食物繊維研究の動向 —定義・定量・エネルギー評価等—」実施報告

平成14年1月11日（金），独立行政法人国立健康・栄養研究所において公開シンポジウムが開催されました。池田義雄会長の開会の挨拶の後，「グローバルな視点からみた食物繊維の定義，測定方法およびエネルギー値：Leon Prosky先生」，「食物繊維を含む難消化性食品成分の包括的定義（ルメナコイド）：片山洋子先生」，「食物繊維のAOAC改良法：金谷建一郎先生」，「食物繊維のエネルギー評価：奥恒行先生」の講演が行われ，次いで総合討論が行われました。最後に池上幸江副会長の閉会の辞によって幕を閉じました。

今回のシンポジウムは松谷化学工業株式会社の協賛を得て開催されました。食物繊維に関する定義，定量，エネルギー評価は日米ともに産官学の関係者が注目している内容であるだけに有意義なシンポジウムとなりました。これを機会に日本食物繊維研究会の活動を海外に発信して評価を受けることができればと思います。

（青江誠一郎 記）

3. 経理関係報告

平成12年度収支決算（平成12年4月1日～平成13年3月31日）

1) 一般会計収支決算（単位：円）

収入の部				支出の部			
科目	決算額	予算額	増△減	科目	決算額	予算額	増△減
会費収入	2,322,500	2,639,000	△316,500	運営費	781,226	1,550,000	△ 768,774
正会員	(553,000)	(630,000)	(△ 77,000)	印刷費	(144,585)	(500,000)	(△ 355,415)
学生会員	(4,500)	(9,000)	(△ 4,500)	通信費	(195,410)	(300,000)	(△ 104,590)
団体会員	(40,000)	(50,000)	(△ 10,000)	消耗品費	(13,950)	(100,000)	(△ 86,050)
賛助会員	(1,725,000)	(1,950,000)	(△225,000)	人件費	(175,000)	(150,000)	(25,000)
事業収入	980,990	1,125,000	△144,010	会議費	(64,300)	(150,000)	(△ 85,700)
会誌等頒布収入	(232,130)	(110,000)	(122,130)	交通費	(145,000)	(300,000)	(△ 155,000)
投稿料	(6,000)	(15,000)	(△ 9,000)	雑費	(42,981)	(50,000)	(△ 7,019)
広告掲載収入	(698,950)	(850,000)	(△151,050)	事業費	2,102,036	2,800,000	△ 697,964
別刷り料	(43,910)	(150,000)	(△106,090)	学術集会補助	(301,526)	(400,000)	(△ 98,474)
剰余金繰入	3,880,958	3,880,157	801	公開講演会補助	(0)	(200,000)	(0)
利息配当金	4,191	10,000	△ 5,809	研究活動費	(188,500)	(400,000)	(△ 211,500)
普通預金	(579)	(0)	(579)	会誌発行費	(1,612,010)	(1,800,000)	(△ 187,990)
特別会計	(3,612)	(10,000)	(△ 6,388)	予備費	0	3,304,157	△3,304,157
その他の収入 (雑収入)	0	0	0	当期剰余金	4,305,377	0	4,305,377
合計	7,188,639	7,654,157	△465,518	合計	7,188,639	7,654,157	△ 465,518

2) 特別会計収支仮決算（単位：円）

収入の部				支出の部			
科目	決算額	予算額	増△減	科目	決算額	予算額	増△減
一般会計繰入金	4,500,000	4,500,000	0	一般会計繰出金	3,612	10,000	△6,388
利息配当金収入	3,612	10,000	△6,388	研究会基金繰越	4,500,000	4,500,000	0
合計	4,503,612	4,510,000	△6,388	合計	4,503,612	4,510,000	△6,388

平成14年度事業計画

1. 学術関係

1) 第7回学術集会の開催

集会長：池上 幸江（大妻女子大学教授）

2) 第7回公開講演会の開催

場所：未定

3) ニュースレターの発行

第13号：平成14年 4月 1日発行予定 発行予定部数300部

第14号：平成14年10月15日発行予定 発行予定部数300部

4) 研究会誌の発行

第6巻1号：平成14年 6月15日発行予定 発行予定部数500部

第6巻2号：平成14年12月15日発行予定 発行予定部数500部

5) その他

定量法およびリサーチ・プロジェクトの各部会の活動を継続。

書籍（仮題：食物繊維）の編集・刊行，ホームページ作成等。

2. 経理関係 (平成14年4月1日～平成15年3月31日)

1) 一般会計収支予算 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科 目	予算額	科 目	予算額
会費収入	2,667,500	運営費	1,350,000
正会員 3,000 × 205	615,000	印刷費	200,000
学生会員 1,500 × 8	12,000	通信費	350,000
団体会員 10,000 × 4	40,000	消耗品費	100,000
賛助会員 50,000 × 40	2,000,000	人件費	200,000
事業収入	1,250,000	会議費	150,000
会誌等頒布収入	250,000	交通費	300,000
広告掲載収入	850,000	雑 費	50,000
別刷り代	150,000	事業費	3,300,000
余剰金繰入*	4,300,000	学術集会補助	400,000
利息配当金	10,000	公開講演会補助	200,000
その他の収入 (雑収入)	0	研究活動費	400,000
		会誌発行費	1,800,000
		H P 開設費	500,000
		予備費	3,587,000
合計	8,237,000	合計	8,237,000

*平成13年度余剰金からの繰入金

2) 特別会計収支予算 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科 目	予算額	科 目	予算額
研究会基金よりの繰入	4,500,000	一般会計への繰入金	10,000
利息配当金収入	10,000	研究会基金繰越	4,500,000
合計	4,510,000	合計	4,510,000

平成13年度産学協議会実施報告

日本食物繊維研究会産学協議会は、去る平成14年2月15日、独立行政法人国立健康・栄養研究所で開催され、23社、38名が参加しました。今回の産学協議会の主たる課題は食物繊維のエネルギー評価についてで、食物繊維素材を開発あるいは使用した商品を出している企業の考え方、希望等について意見交換が行われました。

今回、食物繊維のエネルギー評価をするにあたって、各企業の立場から活発な意見が出され、当研究会における産学協議会の存在意義が発揮されたように感じられました。コンセンサスが得られた新しい考え方は、食物繊維素材に含まれている消化されない食物繊維分についてのみエネルギー評価をし、消化吸収される部分については特に評価しないということでした。

従来、でんぷん分解物などから作った食物繊維素材、たとえば難消化性デキストリンやポリデキストロースなどには、消化される単糖や二糖、オリゴ糖などが含まれており、これを含めて全体のエネルギー量を評価していました。しかし、今回はこれらを除外し、消化されない部分について評価することとなりました。今回の方針は、加工食品の栄養成分分析からすれば、簡便でエネルギー値を容易に算出できます。この方針で評価した結果は、4月中に報告される予定です。(奥恒行 記)

編集委員会より

1) 日本食物繊維研究会ホームページ開設予定のお知らせ

日本食物繊維研究会のホームページを平成14年6月上旬開設に向けてデザイン、コンテンツの検討を行っております。URLが決まりましたのでお知らせします。

ホームページのURL <http://plaza.umin.ac.jp/~jdf/>

バーチャルホスト名 <http://jdf.umin.ne.jp/>

2) 平成14年度会費納入のお願い

当研究会は学術集会、公開講演会の開催、研究会誌、ニュースレターの発行など研究会の運営は会費に依存しております。平成14年度の会費は、平成14年5月31日までに同封の振込用紙でご納入下さいますようお願いいたします。

平成14年度会費

正会員	3,000円	学生会員	1,500円
団体会員	10,000円	賛助会員	50,000円 (一口)

会員状況：平成14年3月31日現在

正会員	208名	学生会員	7名	賛助会員	44社
団体会員	4団体	名誉会員	9名		

【賛助会員】

参松工業株式会社
 全国精麦工業協同組合連合会
 佐合食品工業株式会社
 大塚製菓株式会社佐賀研究所
 財団法人日本こんにゃく協会
 株式会社林原生物化学研究所
 サントリー株式会社
 富士バイオ株式会社
 武田薬品工業株式会社
 株式会社横浜国際バイオ研究所
 日清食品株式会社
 株式会社日健総本社
 明治製菓株式会社
 大和薬品工業株式会社
 株式会社バイオテックジャパン

太陽化学株式会社
 大日本製菓株式会社
 ダニスコカルタージャパン株式会社
 雪印乳業株式会社
 株式会社はくばく
 社団法人菓子総合技術センター
 オリヒロ株式会社
 日清ファルマ株式会社
 日本バイオコン株式会社
 第一出版株式会社
 三和澱粉工業株式会社
 朝日食品工業株式会社
 アーラフーズ・イングレディエントジャパン株式会社
 株式会社東洋新薬
 ロケットジャパン株式会社

株式会社荻野商店
 日本食品化工株式会社
 大塚製菓株式会社
 伊那食品工業株式会社
 日本ケロッグ株式会社
 松谷化学工業株式会社
 株式会社カイゲン
 日本甜菜製糖株式会社
 旭化成工業株式会社
 清水化学株式会社
 昭和産業株式会社
 フィプロ製菓株式会社
 コロト・ナチュレルジャパン株式会社
 日本エヌエスシー株式会社
 (順不同)

日本食物繊維研究会 JDF News Letter No.13

発行日 : 2002年4月25日
 発行人 : 日本食物繊維研究会会長 池田義雄
 編集人 : 奥 恒行、青江誠一郎
 事務局 : 日本食物繊維研究会事務局
 〒162-8636 東京都新宿区戸山1-23-1
 独立行政法人 国立健康・栄養研究所
 食品表示分析・規格研究部気付
 TEL : 03-3203-5602, FAX:03-3205-6549
 印刷所 : 株式会社 交友社
 〒136-0072 東京都江東区大島8-38-5

